

令和2年度沖縄県土木建築部海岸防災課所管の公の施設に係る指定管理者制度運用委員会
(令和元年度指定管理者制度モニタリング検証結果)

- 1 委員会の開催について:今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面による開催を行った。
- 2 委員: 4人(定員4人)
(委員長) Castro Juan Jose(カストロ ホワン ホセ)(琉球大学工学部 教授)
(委員) 下郡みず恵(下郡みず恵税理士事務所 税理士)
(委員) 嘉陽 恵美子((株)ハルス建築環境設計 副社長)
(委員) 石川 裕憲(うるま市観光物産協会 理事長)
- 3 議事事項:令和元年度指定管理者モニタリング実施結果の検証について
(安座真海浜公園)

4 議事内容(主な意見)

～安座真海浜公園について～

- 委員: モニタリングシート「別紙6-1 1ページ目(6)防犯・防災対策」の項目について。以下の5点が事業計画に含まれているかの確認。
1. 防災対策訓練(体制、年間の実施回数)
 2. ライフガードの体制
 3. AEDの表示
 4. 避難経路の表示
 5. 台風対策
- 事務局: 1. 防災対策訓練(体制、年間の実施回数) 2. ライフガードの体制 5. 台風対策については、事業計画に記載されています。
3. AEDの表示については、公園内の中央管理事務所に設置及び案内表示がされています。
 4. 避難経路の表示については、今年度内に来客者から見やすいように入口付近に設置予定となっています。
- 委員: 障害者のトイレ表示がわかりにくい。設置位置や大きさの工夫や退色に考慮したメンテナンスに気配ると良い。
- 事務局: 指定管理者へ確認後、早急に大きめに表示看板が作成され、見やすい表示となって設置された。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	中城湾港安座真海浜公園	対象年度	令和元年度
------	-------------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認	1
	1. 維持管理業務	1
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
	2. 運營業務	2
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等（又は入居率等）	
	2) 施設稼働率	
	3) 教室・イベント等参加者数	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
	3. 自主事業	4
II.	サービスの質の評価	5
	1. 維持管理業務	
	2. 運營業務	
	3. 自主事業	
	4. 総合評価	
III.	サービスの安定性評価(財務状況)	6
	1. 事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
	2. 経営分析指標	
IV.	総合評価	8
	1. 目標	
	2. 評価結果	

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	中城湾港安座真海浜公園	対象年度	令和元年度
指定管理者	一般社団法人 南城市観光協会 指定期間:平成29年4月～令和4年3月	所管課	土木建築部 海岸防災課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ゴミ回収、緑地等の草刈り、砂浜・トイレ・シャワー室等の清掃	○	○ (ゴミ回収)	事業計画のとおり実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も適切な衛生管理に努めること

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内の設備を点検	○	○ (浄化槽維持管理)	事業計画のとおり実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も適切な保守・点検に努めること

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内を巡回警備	○	○ (夜間巡回警備)	事業計画のとおり実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も適切な保安・警備に努めること

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的な巡回により修繕箇所が見つかった場合は的確に対応する	○		事業計画のとおり実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も緊急性、安全性を考慮した適切な修繕を行うこと

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な事務用・維持管理用備品の購入	○		購入なし	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	高額備品の購入は、必要性やコストを検討のうえで行うこと

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
監視員の配置、定期的な防災訓練、危険生物防止ネットや救護用具(レスキューボード、AED等)の設置	○	○ (夜間巡回警備)	事業計画のとおり実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も適切に防犯・防災対策をとること

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
シャワー料金、駐車場料金の徴収を行う	○	○ (駐車場料金)	事業計画のとおり実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も適切に利用料金を徴収すること

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務 取組改善案	今後とも適切な維持管理業務に取り組み、施設の修繕が必要な場合は迅速に対応するよう努めること。
--------------------	--

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		平成30年度実績	事業計画 (目標値)	令和元年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	49,055	50,000	47,756	97%	96%	台風の接近による遊泳禁止が33日あったことによる減少。
	団体利用者数	8,210	8,500	11,995	146%	141%	前年度延期となったビーチまつり開催による増加。
	計	57,265	58,500	59,751	104%	102%	
					評価(①利用状況)	A	

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

[1] 入居率等] ※利用者数等で測れない施設は「1) 利用者数」に代えて記載

	α-1年実績	事業計画 (目標値)	α年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
入居率						
入居率等を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。				評価(①利用状況)		

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率

	平成30年度実績	事業計画 (目標値)	令和元年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
平均稼働率	90%	95%	98%	109%	103%	前年度に比べ台風襲来の減に伴う臨時休園の減(35日→7日)
平日・土日祝日別稼働率	平日90% 土日祝日90%	平日95% 土日祝日95%	平日98% 土日祝日98%	平日109% 土日祝日109%	平日103% 土日祝日103%	
施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。				評価(①利用状況)	A	

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

3) 教室・イベント等参加者実績

	内容	平成30年度実績	事業計画 (目標値)	令和元年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
イベント	海開きフェスティバル	0	3000	4500	皆増	150%	ビーチまつり&海開きとして開催
	ビーチクリーン	25	30	24	96%	80%	
	オープンウォータースイム レース	286	150	154	54%	103%	30年度は2回 今年度は1回
	元旦初日の出	600	500	800	133%	160%	晴天の為
	南城市新春マラソン大会	270	250	350	130%	140%	晴天の為
	ヨナグニウマ祭り う みかぜホースファーム	600	0	0	皆減	皆減	実施無し
計		1781	3930	5828	327%	148%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉	359日	事業報告のとおり であることを確認	整合性がとれて いる	前年度は台風の影響で35日臨時休業が あったが、令和元年度は台風襲来の減によ り、臨時休園が7日となり、稼働率が増加し た。
〈開館時間〉	海開き～6/30 9:30～19:30	事業報告のとおり であることを確認	整合性がとれて いる	
	7/1～8/31 9:30～20:30	事業報告のとおり であることを確認	整合性がとれて いる	
	9/1～10/31 9:30～19:30	事業報告のとおり であることを確認	整合性がとれて いる	
	11/1～海開き 9:00～18:00	事業報告のとおり であることを確認	整合性がとれて いる	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
丁寧な対応を心が け、予約、連絡ミス をしない	○	○ (売店)	事業計画のとおり 実施できた	事業報告のとおり であることを確認	整合性がとれて いる	利用者に対してスタッフが丁寧に対応して おり、今後もより良い対応を心がけること

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP作成、フリーペ ーパー掲載、パンフレット 作成・配布、垂れ幕 の設置	○		事業計画のとおり 実施	事業報告のとおり であることを確認	整合性がとれて いる	集客増に向けて、パンフレットの配布先を工 夫するなど効果的な広報に努めること

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
予約台帳等の個人 情報を見えないよ うにする。	○		事業計画のとおり 実施した	事業報告のとおり であることを確認	整合性がとれて いる	トラブルなどは特に発生しておらず、引き続 き適切な管理に努めること

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
バーベキュー	○		バーベキュー食材の販売、器材のレンタル	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も適切な接客対応に努めること。
マリンスポーツ体験		○	バナナボート・フライボード等	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
レジャー用品レンタル	○		パラソル等のレンタル	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
売店		○	飲物、軽食等の販売	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	顧客ニーズ対応に努め、今後も適切なサービス提供すること。
自動販売機	○		飲料自動販売機を設置	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	品切れ等に留意し、今後も適切なサービスを提供すること。
施設使用料	○		バレー・サッカーコート等貸出	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	今後も適切に安全に配慮したサービスを提供すること。
ドッグラン	○		閑散期に実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている	事業周知や顧客ニーズ対応に努め、閑散期の集客効果を高めること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運營業務 3. 自主事業 取組改善案	市内民間事業者やOCVB等との連携で、修学旅行のマリンスポーツ体験の場として定着してきている。閑散期の県外修学旅行のBBQプランの受け入れを増やす等、今後も引き続き、繁忙期内外の誘客に取り組み、集客増に努めること。
-----------------------------	---

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者自己評価	現状分析・課題	
	平成30年度評価	令和元年度目標	令和元年度評価			
維持管理業務 施設・設備管理(シャワー、トイレ)	〈満足度〉22.5% (※1) ・満足22.5% ・やや満足0% ・普通35% ・やや不満40% ・不満2.5%	〈満足度〉50% (※1)	〈満足度〉70% (※1) ・満足51% ・やや満足19% ・やや不満19% ・不満12% 〈改善要望〉・トイレトーパー設置要望が多く、販売しているティッシュが小さい。 ・温水の要望が多い。旅行社からも冬期のマリン利用時の温水要望有り。 ・施設が古い、壊れているところが多い。	B	施設は古い、清潔感を心がけて清掃している。トイレトーパーは来年度より設置予定。今後も清潔な維持管理に努める。	利用者からは、施設は古い清掃はされているが使いやすい、身障者トイレが使いやすいとの意見もある。団体利用時の机の設置等の対応が良いと、スタッフ対応の評判も良い。トイレトーパーは令和2年7月から無料化を実施しており、改善要望に適切に対応されている。
運営業務 接客対応	〈満足度〉72.5% (※1) ・満足47.5% ・やや満足25% ・普通22.5% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉50% (※1)	〈満足度〉93% (※1) ・満足74% ・やや満足19% ・やや不満5% ・不満2% 〈改善要望〉・メール予約出来るが、空いているか不明なので電話確認になる。 ・修学旅行での利用時に会場に常駐して欲しい。	S	WEB予約やHPからの予約は出来るが、空き状況は電話対応となる。修学旅行時の常駐対応は閑散期で1~2名体制の為、今後の対応を検討したい。	引き続き丁寧な接客対応に努めること。閑散期の修学旅行の常駐対応については、対策を検討し、改善要望に適切かつ効率的な接客・対応に努めること。
施設・設備 (BBQ会場、ビーチ)	〈満足度〉52.5% (※1) ・満足40% ・やや満足12.5% ・普通40% ・やや不満7.5% ・不満0%	〈満足度〉50% (※1)	〈満足度〉85% (※1) ・満足65% ・やや満足20% ・やや不満13% ・不満2% 〈改善要望〉東屋の場所と駐車場の表示がわかりづらい。側溝の蓋が浮いていて危険、柵も壊れている箇所がある。	A	教舎のBBQ機材の修繕を行った。今後随時点検し、不具合があれば修繕する。機材の準備片付けは現状維持、撤収開始時間を早め、効率の良い運営を行っていく。危険箇所は撤去や修繕を行う。	施設内を清潔に保ち、整備については定期的に点検を行うなどトラブル防止に努めること。危険箇所においては県も改善方法及び処理について適宜検討していく。
利用条件	〈満足度〉0% (※1) ・満足0% ・やや満足0% ・普通0% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉0% (※1)	〈満足度〉0% (※1) ・満足0% ・やや満足0% ・普通0% ・やや不満0% ・不満0% 〈改善要望〉			
教室・プログラム	〈満足度〉0% (※1) ・満足0% ・やや満足0% ・普通0% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉0% (※1)	〈満足度〉0% (※1) ・満足0% ・やや満足0% ・普通0% ・やや不満0% ・不満0% 〈改善要望〉			
自主事業	〈満足度〉60% (※1) ・満足42.5% ・やや満足17.5% ・普通32.5% ・やや不満7.5% ・不満0%	〈満足度〉50% (※1)	〈満足度〉92% (※1) ・満足66% ・やや満足26% ・やや不満6% ・不満2% 〈改善要望〉風除けが古い。平張りのテーブルが古くぐらぐらしていた。	S	遠足等のアレルギー対応やメニュー調整の要望は可能な限り対応している、今後も継続する。風除け板は随時更新していく。次年度も製作し、更新予定。テーブルの更新も検討する。	アレルギーメニュー対応、成分表やアレルギー対応者への鉄板の追加が出来るのが良いとの意見があり、要望に丁寧に対応されている。引き続き可能な限り適切に要望に対応すること。設備等の対応についても今後も、トラブルの事前防止に努めること。
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉77.5% (※1)	〈満足度〉50% (※1)	〈満足度〉85%	評価 (②満足度) A	安全管理第一に施設の管理を行い安全で快適なビーチを維持していく。平張りの使用に関しては、団体利用との調整をしておいた。マリンスポーツの情報(台風明け)は、早めにHP、SNS等で情報発信を行う。	施設の清潔さやスタッフ対応の良さ、海がきれいとの意見があり、顧客満足度の高さがうかがえる。今後とも満足度の維持・向上のため、創意工夫に努めること。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

II. サービスの質の評価 取組改善案	施設・設備管理、接客対応などの業務においても、改善要望に可能な限り適切に対応されている。今後も顧客満足度の向上を図るため、施設の故障が生じた場合や改善要望がある場合は迅速に対応する等、顧客ニーズを捉えたサービスの提供に努める。
------------------------	---

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		平成30年度実績	事業計画	令和元年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	駐車場	5,166,500	5,500,000	4,962,342	96%	90%	
	シャワー料	1,251,300	1,400,000	1,905,600	152%	136%	
	計	6,417,800	6,900,000	6,867,942	107%	100%	
指定管理料							利用料金制のため
自主事業収入	バーベキュー(器材・食材等)	18,536,410	21,770,000	16,764,110	90%	77%	
	レジャー関係備品レンタル料等	1,607,500	2,300,000	1,906,100	119%	83%	
	マリンスポーツ体験料	6,589,500	6,800,000	5,989,200	91%	88%	
	店舗使用料	426,200	480,000	387,628	91%	81%	売店
	トイレトペーパー	196,600	200,000	138,700	71%	69%	
	自動販売機	469,703	470,000	410,540	87%	87%	
	施設使用料	499,400	450,000	846,500	170%	188%	ロケ代等
	県からの補填	24,059,160	1000	5,210,880	22%	521088%	台風等被害復旧費用
	一般会計繰入金	1,700,000	300,000	300,000	18%	100%	
	繰越金	169,820		-110,408	-65%		
	寄付金	0	1,000	0	0%	皆減	
	借入金	0	1,000	0	0%	皆減	
	雑収入	439,000	500,000	795,338	181%	159%	ドッグラン、ロッカー手数料等
イベント事業費	2,105,000	121,000	90,000	4%	74%	まつり協賛金	
計	56,798,293	33,394,000	32,728,588	58%	98%		
合計(A)	63,216,093	40,294,000	39,596,530	63%	98%		
参考:台風被害復旧費を除いた額	39,156,933	40,293,000	34,385,650	88%	85%		

(現状分析・課題)

利用料金収入は前年度と比較して増になっており、自主事業収入は減になっている。全体的にも前年度比12%の減(県からの補填を除く)となっており、今後も利用者増につながるよう、計画したイベントの確実な実施及び拡充と、オフシーズンの新たな事業の検討など、収入増につなげる工夫が必要である。

(2) 支出(指定管理業務)

支出項目	平成30年度実績	事業計画	令和元年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費	6,060,510	5,000,000	4,731,438	78%	95%	
旅費	0	0	0	0%	0%	
交際費	0	0	0	0%	0%	
需用費	5,556,430	5,648,000	4,829,150	87%	86%	
役務費	246,507	250,000	248,533	101%	99%	
委託料	8,475,787	9,300,000	8,915,540	105%	96%	
使用料及び賃借料	235,042	250,000	352,798	150%	141%	
原材料費	0	0	0	0%	0%	
備品購入費	0	0	0	0%	0%	
修繕料	79,147	100,000	75,000	95%	75%	
公租公課	710,700	100,000	66,304	9%	66%	
その他(立替金)	24,059,160	0	5,210,880	22%	—	県からの補填
合計	45,423,283	20,648,000	24,429,643	54%	118%	
参考:台風被害復旧費用立替金を除いた額	21,364,123	20,648,000	19,218,763	90%	93%	

(2) 支出(自主事業)

支出項目	平成30年度実績	事業計画	令和元年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費	0	0	0	0%	0%	
賃金	777,331	1,000,000	1,166,501	150%	117%	
報酬費	10,000	0	0	皆減	0%	
旅費	0	0	69,460	皆増	皆増	
交際費	0	0	0	0%	0%	
需用費	10,051,503	12,150,000	9,772,784	97%	80%	
役務費	862,088	0	0	皆減	0%	
委託料	5,350,960	5,300,000	4,905,555	92%	93%	
使用料及び賃借料	0	0	0	0%	0%	
原材料費	0	0	0	0%	0%	
備品購入費	830,886	300,000	0	皆減	皆減	
修繕費	0	0	0	0%	0%	
負担金	20,000	50,000	0	皆減	皆減	
公租公課	450	700,000	599,100	133133%	86%	
その他		0	0			
合計	17,903,218	19,500,000	16,513,400	92%	85%	
合計(指定管理料+自主事業)(B)	63,326,501	40,148,000	40,943,043	65%	102%	
参考:台風被害復旧費を除いた額	39,267,341	40,148,000	35,732,163	91%	89%	

(現状分析・課題)

指定管理業務では、前年度比10%減、事業計画比7%の減(県からの補填を除く)となっている。
自主事業は、前年度比8%減、事業計画比15%減となっており、全体的には前年度比9%減、事業計画比11%減となっている。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	平成30年度実績	事業計画	令和元年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-110,408		-1,346,513	-1220%		台風被害復旧費用補填金を除く
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	-0.28%		-3.77%	-1340%		台風被害復旧費用補填金を除く
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	16.39%		19.97%	122%		台風被害復旧費用補填金を除く
人件費比率 (人件費/支出(B))	15.43%		13.24%	86%		台風被害復旧費用補填金を除く
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	35.21%		38.68%	110%		台風被害復旧費用補填金を除く
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	686		598	87%		台風被害復旧費用補填金を除く
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	-	-	-	-	-	指定管理料なし
(現状分析・課題) 令和2年度は台風の直撃は少なかったが、接近が多くBBQやマリンスポーツ等、売り上げが例年より少なくなったことが主なマイナス面となっている。利用者増につながるよう、計画したイベントの確実な実施及び拡充と、オフシーズンの新たな事業の検討など、収入増につなげる工夫が必要である。						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)	B	【評価基準 (③財務状況)】 収益率 (事業収支/収入合計) A : 0%以上 B : -5%以上、0%未満 C : -5%未満
-----------	---	---

III. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	事業収支は、1,346,513円の赤字となっている。利用料金比率が19.97%と、管理運営費の大部分を自主事業収入によってまかなわれている。新規イベントの考案、HPやSNSでの広告周知、オフシーズンの新たな事業の検討など、収入増加及び収益を確保するための方策を検討する必要がある。
------------------------------------	--

※「III. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H31年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したもとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがゆくり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2020(R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	57,600	57,800	58,000	60,000	
	②満足度	満足度	60%	70%	80%	85%	
財務指標	③財務状況	収益率	1%	1%	2%	3%	

2. 評価結果

評価項目	評価指標	平成30年度実績	事業計画(目標値)	令和元年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和2年度目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	57,265	58,500	59,751	104%	102%	前年度と比較して台風の影響が少なかったことや、ビーチまつり開催による利用者増。	A	繁忙期のBBQやマリンスポーツの集客、イベントの開催や閑散期の県外修学旅行のBBQプランの受け入れを増やす、新たなイベントの考案等、今後も引き続き、繁忙期内外の集客増に努めること。	30,000
	②満足度	満足度	54%	60%	85%	157%	142%	施設の清潔さやスタッフ対応の良さ、海がきれいとの意見があり、顧客満足度の高さがうかがえる。	A	今後も顧客満足度の向上を図るため、施設の故障が生じた場合や改善要望がある場合は迅速に対応する等、顧客ニーズを捉えたサービスの提供に努める。	65%
財務指標	③財務状況	収益率	-0.28%	1%	-3.77%	-1346%	-377%	事業収支の赤字が続いている。収入増加及び収益を確保するための方策を検討する必要がある。	B	計画したイベントの確実な実施及び拡充と、オフシーズンの新たな事業の検討など、収入増につなげる方策の検討。	0%
活動指標	④重点取組事項	安心安全 利便性向上 経費節減	レンタル品 購入 マリンス ポーツメ ニュー追 加	安心安全 業務効率 化 収益率UP	鉄板購入 BBQ料金 変更 弥生会計導 入 Airレジの導 入 ポケット導 入			元年度4月より、外国人客対応の為、ポケット導入 元年度2月に受付と経理の業務効率化の為、Airレジを導入 経理業務を当協会の経理担当へ集約	A	接客業務や、経理業務の効率化において、様々な対策を導入し、経費節減や利便性、職員の負担減に努めている。今後も利用者が安心して楽しめるように適切な対応に努めること。	満足度向上 安心安全 堅忍持久

総合評価	A
------	---

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「R2目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度 (各評価項目の平均値)

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

③財務状況

収益率 (事業収支/収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S : 目標を大きく上回る

A : 目標を概ね達成

B : 目標を下回る

【総合評価基準】

	総合評価基準	
S	40点以上	かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上	
B	10点以上	
C	5点以下	

【各評価項目点数】

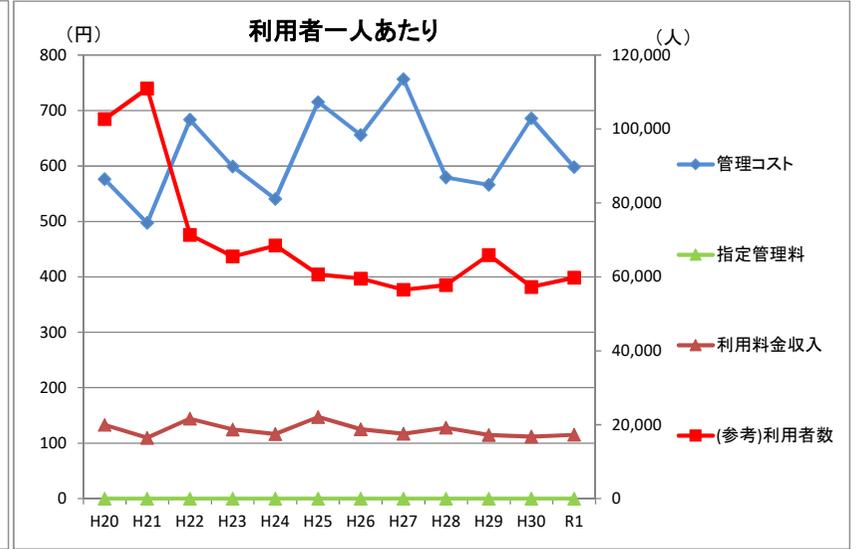
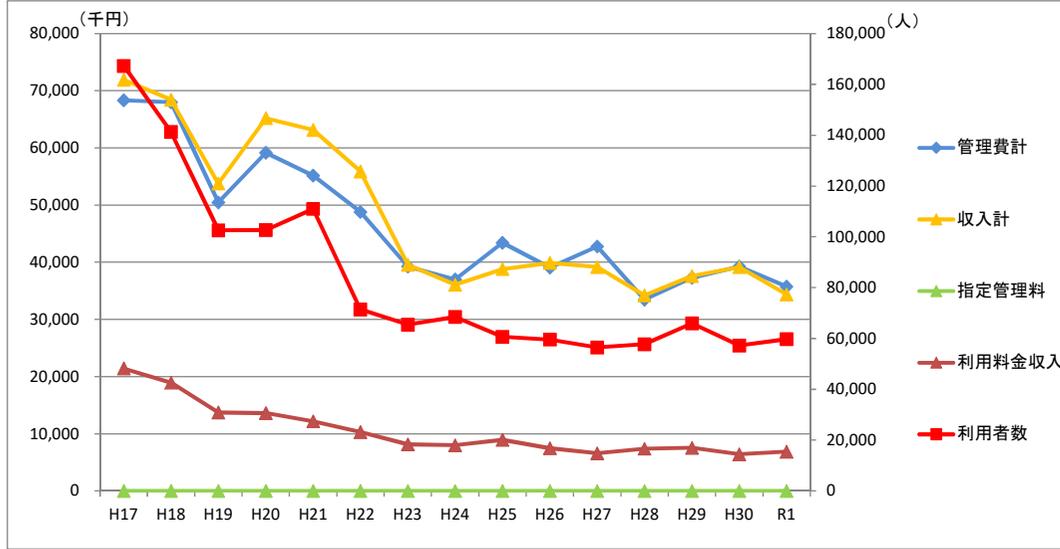
	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称: 中城湾港安座真海浜公園

※南城市(～H22)の収支については「累積」となっている。

指標		単位	旧知念村(管理委託)		南城市(H17.12月まで旧知念村)		南城市			(社)南城市観光協会			(一社)南城市観光協会			(一社)南城市観光協会							
			H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
成果指標	利用者数	目標	人															58,500					
		実績	人	148,423	163,552	167,335	141,283	102,602	102,661	110,939	71,394	65,493	68,453	60,646	59,550	56,516	57,768	65,887	57,265	59,751			
	目標比	%				84%	61%	61%	66%	43%	39%	41%	36%	36%	34%	35%	39%	34%	36%	0%	0%		
	満足度		%						86%				82%	91%	85%	84%	87%	81%	68%	54%	85%		
財務指標	指定管理料	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%																				
		利用料金収入	千円			21,401	18,934	13,726	13,629	12,176	10,305	8,163	7,993	8,931	7,457	6,601	7,382	7,543	6,417	6,867			
		利用料金比率(利用料金/収入計)	%			29.8%	27.7%	25.5%	20.9%	19.3%	18.4%	20.6%	22.1%	23.0%	18.7%	16.8%	21.6%	20.1%	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
		収入計	千円			71,901	68,443	53,779	65,211	63,171	55,869	39,547	36,087	38,785	39,904	39,182	34,194	37,578	39,156	34,385			
	管理費計	千円			68,336	67,985	50,447	59,151	55,157	48,806	39,236	37,000	43,387	39,061	42,755	33,464	37,284	39,267	35,732				
	収支	千円			3,565	458	3,332	6,060	8,014	7,063	311	-913	-4,602	843	-3,573	730	170	-111	-1,347				
		収益率(収支/収入計)	%			5.0%	0.7%	6.2%	9.3%	12.7%	12.6%	0.8%	-2.5%	-11.9%	2.1%	-9.1%	2.1%	0.5%	-0.3%	-3.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	
/単位	一人あたり管理コスト	円			408	481	492	576	497	684	599	541	715	656	757	579	566	686	598	#DIV/0!	#DIV/0!		
	一人あたり指定管理料	円			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!		
	一人あたり利用料金収入	円			128	134	134	133	110	144	125	117	147	125	117	128	114	112	115	#DIV/0!	#DIV/0!		

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

R1年度	台風の接近が多くBBQやマリンスポーツ等の影響が大きく、収入は前年度比減となっている。
H30年度	利用料金収入は前年度比減となっているが、収入全体は前年度比増となっている。
H29年度	台風の影響でイベントがキャンセルになるなどの要因で収入は前年度比減となっている。
H28年度	自主事業において繁忙期に一部のマリンスポーツを外部へ委託したことにより経費の増となった。

目標設定の考え方

※目標設定の根拠や考え方などを記載

H30年度	台風の影響により収入が左右されるが、イベントや閑散期の集客で増収に努めたい。
R1年度	〃
R2年度	〃
R3年度	〃